

# 花と緑のぐんまづくり通信

問い合わせ 都市施設課 (☎2332)

<https://www.city.fujioka.gunma.jp/hanamidori/>



毎年県内各市町で開催している「花と緑のぐんまづくり」が2020年に藤岡市で開催することが決定しました。また、2019年は県内初の開催となるイベントを行います。「花と緑のぐんまづくり通信」ではイベント情報や活動の様子などをお知らせしていきます。

## イベント会場の様子

ふじの咲く丘では、花と緑のぐんまづくり藤岡市実行委員である藤岡緑化クラブと群馬県建設業協会藤岡支部が花壇づくりを行いました。4月13日(土)・14日(日)には、実行委員とボランティアの皆さんで花壇に花を植えます。花と緑で彩られた藤岡市をぜひお楽しみください。

## 花と緑のぐんまづくりin藤岡～イベント～ 4月の催し情報

日にち	時間	会場	内容
4月27日(土)	午後1時30分～	ふじの咲く丘	オープニングセレモニー 花の苗無料配布(無くなり次第終了) や中学生による吹奏楽など
4月28日(日)	午前11時～ 午後1時30分～	古桜町広場	屋外イベント(出演者:岩瀬ガッツ・ HORIKEN・TMJ)
4月29日(祝)	午前11時～ 午後1時30分～		屋外イベント(出演者:岩瀬ガッツ・ ポチッとくん・NT ALL)
4月30日(休)	午前11時～ 午後1時30分～ 午前9時30分～		屋外イベント(出演者:岩瀬ガッツ・ 三国けん・アンカンミンカン) 藤岡北高校生による野菜などの販売

※期間中、汁物などの無料配布を予定しています

フェイスブック・Instagram始めました!

いいね!・フォローを  
お待ちしております!



@hanamidori.fujioka  
フェイスブック



@hanamidori.fujioka  
Instagram

## ハンギングバスケット



ハンギングバスケットとは、空中へぶら下げられる容器に植物を植え付ける空間演出方法の1つです。市内各所にもハンギングバスケットによる飾り付けを行う予定です。

## 耳より情報

### 市民の皆さんと歩んで65年

### 広報ふじおか発行1200号

「広報ふじおか」は昭和29年4月に第1号を発行し、今号で創刊1200号を迎えました。市の発展とともに市民の皆さんと歩んだ本紙のあゆみを紹介いたします。

### 創刊号

昭和29年4月1日号  
円未満の小額通貨が廃止された昭和29年。藤岡町と神流村、小野村、美土里村、美九里村が合併し藤岡市が誕生しました。

### 広報紙の変化

- ・昭和29年4月1日号～B5版、月1回発行
- ・昭和53年4月1日号～月2回(1・15日)発行に変更
- ・昭和61年4月1日号～A4版に変更

1,000号



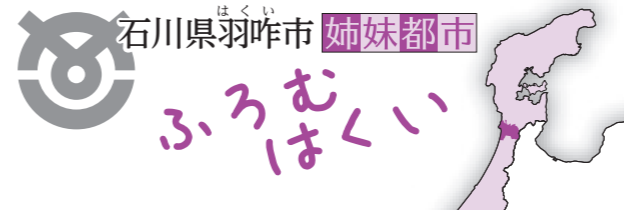
平成22年12月1日号

高速道路の一部無料化が始まった平成22年。総合学習センターがオープンしました。

500号

平成2年2月1日号

大阪で国際花と緑の博覧会が開催された平成2年。市立図書館が現在の場所へ新築移転しました。



(株)日本旅行と協定締結

## 羽咋創生をバックアップ

2月28日、羽咋市は(株)日本旅行と「地方創生」に向けた包括連携協定を締結しました。この協定は、羽咋市と同社が互いに協力し、羽咋の観光振興や魅力発信、移住・定住をはじめとする地域の活性化に向けて取り組むことに合意したものです。

日本でも有数の大手旅行会社である同社が、特定の自治体のPRのために協定を締結するのは全国でも初めてのこと。今後は、連携して羽咋観光のための旅行プランや千里浜なぎさドライブウェイをはじめとする観光資源を活用した市の魅力発信、ふるさと納税返礼品としての旅行商品開発などに取り組むこととなります。新たな絆で羽咋の知名度が国内外に高まることが期待されます。



↑協定を交わし、手を取り合う(株)日本旅行の堀坂社長(左)と山辺市長。同社宣伝部長を務める「キティちゃん」も参加

## ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～ No.37

問い合わせ 文化財保護課 (☎23 5997)

## 地名「藤岡」の由来

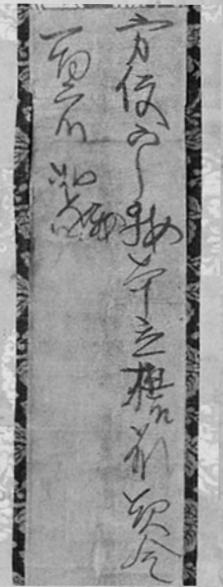
～「ふじおか」と日蓮の足跡～

今年も藤の花の季節が近づいています。藤岡市の「藤」に、この藤の花を連想する人は多いのではないのでしょうか。しかし、そもそも「ふじおか」の地名はどのような経緯で成立したのでしょうか。

富士浅間神社の縁起によると今から約700年前の鎌倉時代、日蓮が佐渡流罪から赦免され、鎌倉への帰途で藤岡に滞在した折、常が岡の畦塚に、法華経8巻を納めて、富士山の分霊を勧請し、この地を「富士岡」と称したといわれます。天龍寺には日蓮直筆の「方便品十六字」が残されており、日蓮が藤岡の地に滞在したことを裏付ける重要な史料となっています。その後藤岡領主になった芦田氏が芦田城を築き始めたころに「富士岡」から「藤岡」と表記するようになったと伝えられています。「常が岡」とは、現在の藤岡付近広域を

指し、その範囲は常緑の松が多かった庚申山付近にまで及んだことから「常」の字を用いたそうです。これが藤岡の元の地名ではないかといわれ、富士浅間神社も「常岡神社」と呼ばれていた時代がありました。

「常が岡」そして日蓮の称した「富士岡」がどのように作用し、「藤岡」の地名になったのかは定かではありませんが、いずれにしても藤岡の歴史と深い関わりがあることは確かと思われる。



日蓮直筆「方便品十六字」(市指定重要文化財)